

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	H24年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市右京区太秦上刑部町10番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社DNPテクノパック関西 取締役 三好 誠治
環境マネジメントシステムの名称	独自のシステム
適用範囲	株式会社DNPテクノパック関西 京都工場、田辺工場
導入年月日	1993年 11月 日
認証番号	
基本方針	DNPグループの環境目標達成に向け、効率良いモノづくりの追求を基本とし、環境に与える負荷を軽減することにより、地球環境の保全・資源の有効利用に努める。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止：エネルギー使用量(原油換算量) 前年度比11.5%削減（生産機の田辺工場移設を考慮） ・産業廃棄物削減：排出量原単位を改善。 ・環境保全：法規制及び自主基準遵守 他にVOC・PRTR・環境配慮製品・オフィス環境関係についての目標を設定。 <p>田辺工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止：エネルギー使用量(原油換算量) 前年度比17%増に抑える（新工場増加分を加算） ・産業廃棄物削減：排出量原単位を改善。 ・環境保全：法規制及び自主基準遵守 他にVOC・PRTR・環境配慮製品・オフィス環境関係についての目標を設定。
目標を達成するための取組の内容	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 照明の省エネ（LED化、HF化、人感センサー化、間引き）、コンプレッサー電力削減、機械冷却水の冷水システム見直し、ポンプ類のインバーター化、コージェネ2号機効率UP対策、デマンド監視強化、熱交換器の断熱、蒸気トラップの総点検。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減。 <p>田辺工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 照明の省エネ（LED化、HF化、人感センサー化、間引き）、コンプレッサー電力削減、焼却炉筐体放熱回収利用によるボイラガス使用量の削減、蒸気吸冷をターボ冷凍機へ更新、デマンド監視強化、蒸気トラップの総点検 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減。
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 照明の省エネ（間引き）、コンプレッサーベース機1台（37KW）更新 機械冷却水の冷水システム見直し（井戸水利用）、ポンプ類のインバーター化、コージェネ2号機給気温度簡易冷却化、デマンド監視システムの設置、熱交換器の断熱、蒸気トラップの総点検実施済み。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減取組み中。 <p>田辺工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 照明の省エネ（HF化）、コンプレッサー元圧力の低減、焼却炉筐体放熱回収利用によるボイラガス使用量の削減、蒸気吸冷をターボ冷凍機へ更新 デマンド監視システムの設置、蒸気トラップの総点検実施済み。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減取組み中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取組む事が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、毎月確認を行っている。 又、本社組織の監査チームによる遵法検査についても定期的に行っている。 これまでに違反及び行政当局からの指導なし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については原則として半年1回行っている。 平成22年度は、現行の目標及び取組み内容により一定の成果が見られたことから平成23年度も同一システムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。